

# 看護師が知っておくべき漢方薬の副作用

【監修】渡邊 友美子先生 (滋賀県立大学)

# 生薬の副作用 ①甘草（かんぞう）

|         |                                            |
|---------|--------------------------------------------|
| 主な成分    | グリチルリチン酸                                   |
| 主な薬効    | 胃腸機能の調整、抗炎症、各漢方薬の作用および毒性の緩和                |
| 副作用     | 偽アルドステロン症（血圧上昇、浮腫、動悸、筋肉痛など）                |
| 注意を要する例 | 偽アルドステロン症、ミオパチー、低カリウム血症                    |
| 併用注意の薬剤 | 利尿薬（ループ系利尿薬、サイアザイド系利尿薬）、<br>甘草・グリチルリチン含有製剤 |

# ①甘草一含有する漢方薬 例

| 甘草を含む漢方薬             | 適応する症状 例        |
|----------------------|-----------------|
| ぼうふうつうしょうさん<br>防風通聖散 | 肥満症、便秘、肩こり      |
| ほちゅうえっきとう<br>補中益気湯   | 虚弱、消化機能低下、四肢倦怠感 |

# 生薬の副作用 ②麻黄（まおう）

|         |                                            |
|---------|--------------------------------------------|
| 主な成分    | エフェドリン                                     |
| 主な薬効    | 鎮咳、去痰、抗炎症、発汗、解熱                            |
| 副作用     | 不眠、動悸、高血圧、不整脈、排尿障害、食欲不振など                  |
| 注意を要する例 | 高齢者、虚弱者、循環器疾患、排尿障害、授乳女性                    |
| 併用注意の薬剤 | チロキシン、エピネフリン、テオフィリン、<br>麻黄およびエフェドリン含有製剤 など |

## ②麻黄一含有する漢方薬 例

| 麻黄を含む漢方薬           | 適応する症状 例             |
|--------------------|----------------------|
| かっこんとう<br>葛根湯      | 発汗がみられない発熱、悪寒、頭痛、肩こり |
| しょうせいりゅうとう<br>小青竜湯 | 水様性鼻汁、水様の痰、鼻閉、喘鳴、咳嗽  |

# 生薬の副作用 ③附子（ぶし）

|         |                                       |
|---------|---------------------------------------|
| 主な成分    | アコニチン                                 |
| 主な薬効    | 鎮痛、強心、利尿、代謝促進                         |
| 副作用     | 動悸、のぼせ、舌のしびれ、悪心など                     |
| 注意を要する例 | 高血圧患者、頻脈性不整脈を有する患者、暑がっている患者、体力の充実した患者 |
| その他     | 附子は毒性を有するため、加熱して減毒加工したものを漢方薬に用いる      |

### ③附子一含有する漢方薬 例

| 附子を含む漢方薬          | 適応する症状 例                   |
|-------------------|----------------------------|
| ごしゃじんきがん<br>牛車腎気丸 | 四肢の冷え、倦怠感、尿量減少、しびれ、老人のかすみ目 |
| しんぶとう<br>真武湯      | 新陳代謝低下、胃腸虚弱、消化不良           |

# 生薬の副作用 ④黄芩（おうごん）

|         |                           |
|---------|---------------------------|
| 主な成分    | バイカリン                     |
| 主な薬効    | 消炎、解熱、緩下、利尿               |
| 副作用     | 間質性肺炎（呼吸困難、乾性咳嗽、発熱）、薬剤性肝炎 |
| 注意を要する例 | 肝硬変                       |
| 併用注意の薬剤 | インターフェロン製剤                |

## ④黄芩一含有する漢方薬

| 黄芩を含む漢方薬           | 適応する症状 例     |
|--------------------|--------------|
| しょうさいことう<br>小柴胡湯   | 食欲不振、上腹部の腹満感 |
| はんげしゃしんとう<br>半夏瀉心湯 | 口内炎、悪心・嘔吐、下痢 |

# **本資材で紹介されている製品**

**各製品の警告、禁忌を含む注意事項等情報は、電子添文をご参照ください**



# ツムラ防風通聖散エキス顆粒(医療用)

2023年12月改訂

[TJ-62]

漢方製剤

薬価基準収載

出典: 宣明論

## 組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|             |      |               |      |
|-------------|------|---------------|------|
| 日局カツセキ..... | 3.0g | 日局シャクヤク.....  | 1.2g |
| 日局オウゴン..... | 2.0g | 日局センキュウ.....  | 1.2g |
| 日局カンゾウ..... | 2.0g | 日局トウキ.....    | 1.2g |
| 日局キキョウ..... | 2.0g | 日局ハツカ.....    | 1.2g |
| 日局セツコウ..... | 2.0g | 日局ボウフウ.....   | 1.2g |
| 日局ビャクジュツ... | 2.0g | 日局マオウ.....    | 1.2g |
| 日局ダイオウ..... | 1.5g | 日局レンギョウ.....  | 1.2g |
| 日局ケイガイ..... | 1.2g | 日局ショウキョウ..... | 0.3g |
| 日局サンシシ..... | 1.2g | 日局無水ボウショウ..   | 0.7g |

## 用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。  
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## 効能又は効果

腹部に皮下脂肪が多く、便秘がちなものの次の諸症：  
高血圧の随伴症状(どうき、肩こり、のぼせ)、肥満症、むくみ、便秘

## 副作用(抜粋)

重大な副作用

- 1) 間質性肺炎
- 2) 偽アルドステロン症
- 3) ミオパチー
- 4) 肝機能障害、黄疸
- 5) 腸間膜静脈硬化症

\*その他の注意事項等情報は製品電子添文をご覧ください。





## ツムラ補中益気湯エキス顆粒(医療用)

2023年12月改訂

[TJ-41]

漢方製剤

薬価基準収載

出典：弁惑論

### 組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|             |      |             |      |
|-------------|------|-------------|------|
| 日局オウギ.....  | 4.0g | 日局タイソウ..... | 2.0g |
| 日局ソウジュツ...  | 4.0g | 日局チンピ.....  | 2.0g |
| 日局ニンジン..... | 4.0g | 日局カンゾウ..... | 1.5g |
| 日局トウキ.....  | 3.0g | 日局ショウマ..... | 1.0g |
| 日局サイコ.....  | 2.0g | 日局ショウキョウ... | 0.5g |

### 効能又は効果

消化機能が衰え、四肢倦怠感  
著しい虚弱体質者の次の諸症：  
夏やせ、病後の体力増強、  
結核症、食欲不振、胃下垂、  
感冒、痔、脱肛、子宮下垂、  
陰萎、半身不随、多汗症

### 用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、  
食前又は食間に経口投与する。  
なお、年齢、体重、症状により適宜増減  
する。

### 副作用(抜粋)

重大な副作用

- 1)間質性肺炎
- 2)偽アルドステロン症
- 3)ミオパチー
- 4)肝機能障害、黄疸

\*その他の注意事項等情報は製品電子添文をご覧ください。





# ツムラ葛根湯エキス顆粒(医療用)

## 組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス3.75g を含有する。

|          |      |
|----------|------|
| 日局カッコン   | 4.0g |
| 日局タイソウ   | 3.0g |
| 日局マオウ    | 3.0g |
| 日局カンゾウ   | 2.0g |
| 日局ケイヒ    | 2.0g |
| 日局シャクヤク  | 2.0g |
| 日局ショウキョウ | 2.0g |

## 用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。  
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## 効能又は効果

自然発汗がなく頭痛、発熱、悪寒、肩こり等を伴う比較的体力のあるものの次の諸症：  
感冒、鼻かぜ、熱性疾患の初期、炎症性疾患（結膜炎、角膜炎、中耳炎、扁桃腺炎、乳腺炎、リンパ腺炎）、肩こり、上半身の神経痛、じんましん

## 副作用（抜粋）

### 重大な副作用

- 1) 偽アルドステロン症
- 2) ミオパチー
- 3) 肝機能障害、黄疸





## ツムラ小青竜湯エキス顆粒(医療用)

2023年12月改訂

[TJ-19]

漢方製剤

薬価基準収載

出典：傷寒論、金匱要略

**禁忌(次の患者には投与しないこと)**

1 アルドステロン症の患者    2 ミオパチーのある患者    3 低カリウム血症のある患者

[当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

### 組 成

本品9.0g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス5.0gを含有する。

|                   |                   |
|-------------------|-------------------|
| 日局ハンゲ..... 6.0g   | 日局ゴミシ..... 3.0g   |
| 日局カンキョウ..... 3.0g | 日局サイシン..... 3.0g  |
| 日局カンゾウ..... 3.0g  | 日局シャクヤク..... 3.0g |
| 日局ケイヒ..... 3.0g   | 日局マオウ..... 3.0g   |

### 用法及び用量

通常、成人1日9.0gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。  
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

### 効能又は効果

下記疾患における水様の痰、水様鼻汁、鼻閉、くしゃみ、喘鳴、咳嗽、流涙：  
気管支炎、気管支喘息、鼻炎、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、感冒

### 副作用(抜粋)

**重大な副作用**

- 1) 間質性肺炎
- 2) 偽アルドステロン症
- 3) ミオパチー
- 4) 肝機能障害、黄疸

\*その他の注意事項等情報は製品電子添文をご覧ください。





# ツムラ牛車腎気丸エキス顆粒(医療用)

2023年12月改訂

[TJ-107]

漢方製剤

薬価基準収載

出典: 済生方

## 組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|              |      |              |      |
|--------------|------|--------------|------|
| 日局ジオウ.....   | 5.0g | 日局タクシャ.....  | 3.0g |
| 日局ゴシツ.....   | 3.0g | 日局ブクリョウ..... | 3.0g |
| 日局サンシュユ..... | 3.0g | 日局ボタンピ.....  | 3.0g |
| 日局サンヤク.....  | 3.0g | 日局ケイヒ.....   | 1.0g |
| 日局シャゼンシ..... | 3.0g | 日局ブシ末.....   | 1.0g |

## 用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。  
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## 効能又は効果

疲れやすく、四肢が冷えやすく  
尿量減少または多尿で時に  
口渴がある次の諸症：  
下肢痛、腰痛、しびれ、老人の  
かすみ目、かゆみ、排尿困難、  
頻尿、むくみ

## 副作用(抜粋)

### 重大な副作用

- 1) 間質性肺炎
- 2) 肝機能障害、黄疸

\*その他の注意事項等情報は製品電子添文をご覧ください。





# ツムラ真武湯エキス顆粒(医療用)

2023年12月改訂

〔TJ-30〕

漢方製剤

薬価基準収載

出典：傷寒論

## 組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス2.0gを含有する。

|          |           |
|----------|-----------|
| 日局ブクリョウ  | .....4.0g |
| 日局シャクヤク  | .....3.0g |
| 日局ソウジュツ  | .....3.0g |
| 日局ショウキョウ | .....1.5g |
| 日局ブシ末    | .....0.5g |

## 用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。  
なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## 効能又は効果

新陳代謝の沈衰しているものの次の諸症：  
胃腸疾患、胃腸虚弱症、慢性腸炎、消化不良、胃アトニー症、胃下垂症、ネフローゼ、腹膜炎、脳溢血、脊髄疾患による運動ならびに知覚麻痺、神経衰弱、高血圧症、心臓弁膜症、心不全で心悸亢進、半身不随、リウマチ、老人性掻痒症

## 副作用( 抜粋 )

その他の副作用

|     | 頻度不明               |
|-----|--------------------|
| 過敏症 | 発疹、発赤、掻痒、蕁麻疹等      |
| その他 | 心悸亢進、のぼせ、舌のしびれ、悪心等 |

＊その他の注意事項等情報等は製品電子添文をご覧ください。





## ツムラ小柴胡湯エキス顆粒(医療用)

2023年12月改訂

〔TJ-9〕

漢方製剤

薬価基準収載

出典：傷寒論、金匱要略

### 警告

- 1 本剤の投与により、間質性肺炎が起こり、早期に適切な処置を行わない場合、死亡等の重篤な転帰に至ることがあるので、患者の状態を十分観察し、咳嗽、呼吸困難、発熱、肺音の異常、胸部X線異常、胸部CT異常等があらわれた場合には、ただちに本剤の投与を中止すること。
- 2 咳嗽、呼吸困難、発熱等があらわれた場合には、本剤の服用を中止し、ただちに連絡するよう患者に対し注意を行うこと。

### 禁忌(次の患者には投与しないこと)

- 1 インターフェロン製剤を投与中の患者
- 2 肝硬変、肝癌の患者
- 3 慢性肝炎における肝機能障害で血小板数が10万/mm<sup>3</sup>以下の患者

### 効能又は効果

1. 体力中等度で上腹部がはって苦しく、舌苔を生じ、口中不快、食欲不振、時により微熱、悪心などのあるものの次の諸症：  
諸種の急性熱性病、肺炎、気管支炎、気管支喘息、感冒、リンパ腺炎、慢性胃腸障害、産後回復不全
2. 慢性肝炎における肝機能障害の改善



# ツムラ小柴胡湯エキス顆粒(医療用)

2023年12月改訂

[TJ-9]

漢方製剤

薬価基準収載

出典: 傷寒論、金匱要略

## 組成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|               |      |
|---------------|------|
| 日局サイコ.....    | 7.0g |
| 日局ハンゲ.....    | 5.0g |
| 日局オウゴン.....   | 3.0g |
| 日局タイソウ.....   | 3.0g |
| 日局ニンジン.....   | 3.0g |
| 日局カンゾウ.....   | 2.0g |
| 日局ショウキョウ..... | 1.0g |

## 用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## 相互作用(抜粋)

### 併用禁忌(併用しないこと)

| 薬剤名等                                                           | 臨床症状・措置方法         | 機序・危険因子 |
|----------------------------------------------------------------|-------------------|---------|
| インターフェロン製剤<br>インターフェロン-α<br>(スミフェロン等)<br>インターフェロン-β<br>(フェロン等) | 間質性肺炎があらわれることがある。 | 機序は不明   |

## 副作用(抜粋)

### 重大な副作用

- 1) 間質性肺炎
- 2) 偽アルドステロン症
- 3) ミオパチー、横紋筋融解症
- 4) 肝機能障害、黄疸

\*その他の注意事項等情報は製品電子添文をご覧ください。





# ツムラ半夏瀉心湯エキス顆粒(医療用)

2023年12月改訂

[TJ-14]

漢方製剤

薬価基準収載

出典：傷寒論、金匱要略

**禁忌(次の患者には投与しないこと)**

1 アルドステロン症の患者    2 ミオパチーのある患者    3 低カリウム血症のある患者

[当該疾患及びその症状が悪化するおそれがある。]

## 組 成

本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。

|               |      |              |      |
|---------------|------|--------------|------|
| 日局ハンゲ .....   | 5.0g | 日局タイソウ ..... | 2.5g |
| 日局オウゴン .....  | 2.5g | 日局ニンジン ..... | 2.5g |
| 日局カンキョウ ..... | 2.5g | 日局オウレン ..... | 1.0g |
| 日局カンゾウ .....  | 2.5g |              |      |

## 用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。

なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

## 適用上の注意

口内炎に対して本剤を使用する場合は、口にふくんでゆっくり服用することができる。

## 効能又は効果

みぞおちがつかえ、ときに悪心、嘔吐があり食欲不振で腹が鳴って軟便または下痢の傾向のあるものの次の諸症：  
急・慢性胃腸カタル、醗酵性下痢、消化不良、胃下垂、神経性胃炎、胃弱、二日酔、げっぷ、胸やけ、口内炎、神経症

## 副作用(抜粋)

重大な副作用

1)間質性肺炎

3)ミオパチー

2)偽アルドステロン症

4)肝機能障害、黄疸

\*その他の注意事項等情報は製品電子添文をご覧ください。



# 参考文献

---

- 原島広至. 生薬単～語源から覚える植物学・生薬学名単語集, 2017, 丸善雄松堂.
- 伊藤美千穂. エビデンス・ベース 漢方薬活用ガイド, 2018, 京都廣川書店.
- 日本漢方医学教育協議会. 基本がわかる漢方医学講義, 2020, 羊土社.
- ツムラ医療用漢方製剤. 2021, ツムラ.

参考

看護学系漢方教育研究会内「漢方教育委員会」作成スライド

制作

株式会社ツムラ